

## バイオロジカル MTM

—ライトフォースによる歯周病患者への矯正治療—

池田雅彦・大出博司 著

A4 変判・208頁・定価 (本体 9,000 円+税)

2016年9月22日 ヒョーロン・パブリッシャーズ刊

加藤 熙

(北海道大学名誉教授/茨城県水戸市・加藤歯周病研究所)



歯周病とブラキシズムの治療向上に長い間取り組み、『治りやすい歯周病と治りにくい歯周病』（ヒョーロン・パブリッシャーズ、2011年）の著者である池田雅彦先生が、矯正歯科医の大出博司先生と二人で『バイオロジカル MTM』と題した本を出版した。著者お二人は北海道大学歯学部卒で、札幌の同じビルで開業し、数多くの歯周病患者の矯正治療に取り組んでいるのを知っていたので、大変興味があり、さっそく手に入れた。

### ■本書の特徴

読んでみると、歯周病患者の MTM を成功させる要点をわかりやすく解説し、著しい効果を示した症例を数多く紹介しており、日常の臨床にきわめて役立つ成書になっているのに驚いた。

これまで歯周病に罹患していない患者の MTM の本は多数出版されているが、歯周病患者の MTM の本は私が執筆した『歯周病患者の局所矯正治療』（医歯薬出版、2007年）のみで、本書が新しく加わったわけである。私は東京医科歯科大学の助手となった1962年、恩師の石川純先生から歯周病患者の前歯の歯間離開を治すよう指導を受け、当時唯一の参考書 Gaiger A, Hirschfeld L

著の『Minor Tooth Movement in General Practice』を読んだが、歯周病患者の MTM はまったく記載がなく、自分なりに工夫を加えて治療し、日本最初の成功例となった。その後も北大・北医療大で取り組み、東医歯大の卒後研修セミナーも長期担当した。池田先生と大出先生は、これらの影響も受けて多くの歯周病患者の MTM を行い、治療内容の分析検討を行っている。

歯周病患者の矯正治療には、歯周病学と矯正学の知識が必要であり、本書では池田先生が歯周病学を担当、咬合異常を伴う歯周治療の進め方から MTM への導入の仕方、矯正治療前の注意事項を実例を挙げながら解説し、大出先生は矯正治療した100症例を咬合異常別に7タイプに分類し、その特徴・治療上の注意点を述べ、歯周病患者に有効な床矯正装置の作製法を記している。

さらに本書の最大の特徴は、症例を咬合異常7タイプ別に整理し、歯周治療と矯正治療の両面から治療とメンテナンスの内容を詳しく記載しているところにあり、歯周矯正治療のレベルアップを図りたい臨床家に非常に参考になる。

### ■バイオロジカル MTM

「バイオロジカル MTM」は池田

先生の考えた新しい用語で、「歯周病などで移動した歯を矯正治療するだけでなく、矯正することで生理的に理にかなった生体の治癒を引き出し、より良い生体の治癒の条件を作るような矯正治療」を意味するとしている。

歯周治療で大切なのは原因の除去であり、これが不十分で歯周組織に炎症と咬合性外傷が合併すると歯周病は急速に進行しやすい。ポケットが深く炎症が深部に及んでいる歯に不注意に矯正力を加えると、矯正力は外傷力となり、歯周病を進行させてしまう。著者らはこの危険を防ぐため、歯周基本治療を徹底して原因を除去して炎症を改善し、矯正力をライトフォースにして歯周組織に生物学的に適切な刺激を加えることにより、患者が持つ治癒力を引き出し、歯周組織の治癒、さらに再生を引き起こすことを示している。

歯周病患者には、歯周病が進行するにつれ歯が病的に移動し、破壊がさらに進行する症例も多い。本書はこのような歯周病患者の MTM に取り組み、歯周治療をレベルアップしたい先生方の大きな味方となり、座右の書としてお役に立つことを確信している。